

令和3年度 鳥取市共通学力調査 【中1義7】 調査結果概要

■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や昨年度調査からの学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

■平均点

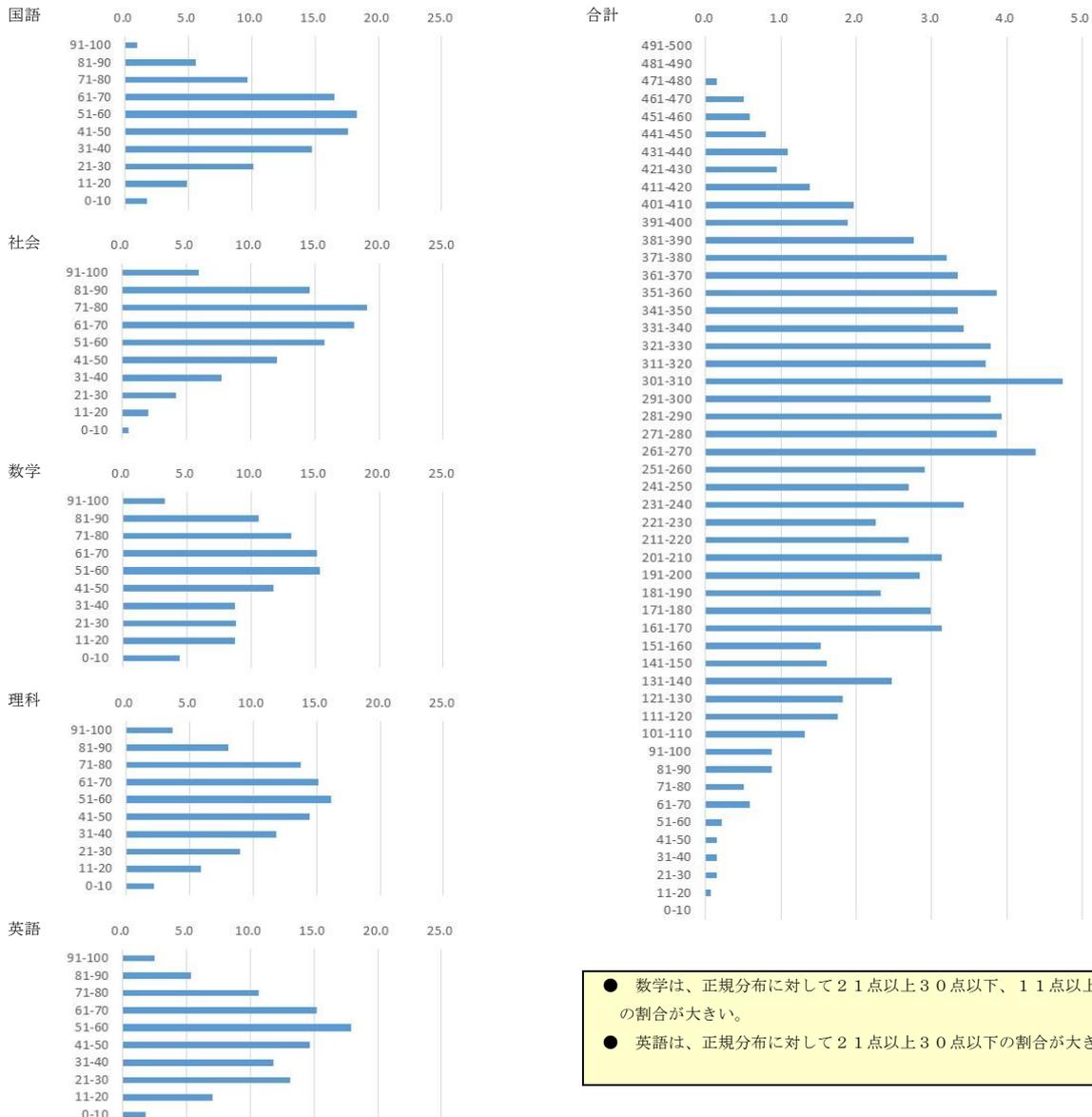
+1.1点以上
-1.1点以下

	令和3年度		
	市中1	全国中1	全国との比較
国語	50.4	51.0	-0.6
社会	62.8	62.8	0.0
数学	52.9	53.6	-0.7
理科	53.7	55.2	-1.5
英語	50.4	53.5	-3.1
合計(※)	270.6	276.1	-5.5

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあらわしており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 国語、社会、数学は全国平均点とほぼ同じであるものの、理科、英語は下回っている。

■得点分布 (%)



- 数学は、正規分布に対して2.1点以上3.0点以下、1.1点以上2.0点以下の割合が大きい。
- 英語は、正規分布に対して2.1点以上3.0点以下の割合が大きい。

■カテゴリー別正答率（%）

+1. 1ポイント以上

-1. 1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	音声言語・言語事項	現代文	表現		知識・技能	思考・判断・表現
市	51.9	42.7	71.4	46.9	42.7		71.4	45.8
全国	53.4	38.0	69.1	49.3	38.0		69.1	46.4
全国との比較（±ポイント）	-1.5	4.7	2.3	-2.4	4.7		2.3	-0.6

- 「基礎」は全国の前答率を1.5ポイント下回っているものの、「活用」は4.7ポイント上回っている。
- 「音声言語・言語事項」「表現」は全国の前答率を上回っているものの、「現代文」は2.4ポイント下回っている。
- 「思考・判断・表現」は全国の前答率とほぼ同じであるものの、「知識・技能」は2.3ポイント上回っている。

社会	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	地理	歴史			知識・技能	思考・判断・表現
市	64.3	50.9	59.7	68.1			63.4	48.6
全国	64.0	52.6	60.2	67.3			63.4	50.1
全国との比較（±ポイント）	0.3	-1.7	-0.5	0.8			0.0	-1.5

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じであるものの、「活用」は1.7ポイント下回っている。
- 「地理」「歴史」ともに全国の前答率とほぼ同じである。
- 「知識・技能」は全国の前答率と同じであるものの、「思考・判断・表現」は1.5ポイント下回っている。

数学	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	数と式				知識・技能	思考・判断・表現
市	57.6	36.2	52.5				59.0	35.6
全国	59.8	39.0	54.8				61.4	37.9
全国との比較（±ポイント）	-2.2	-2.8	-2.3				-2.4	-2.3

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「数と式」は全国の前答率を2.3ポイント下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

理科	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	化学	生物			知識・技能	思考・判断・表現
市	57.4	29.8	47.7	57.0			54.0	52.3
全国	58.9	32.0	49.0	58.8			54.7	55.0
全国との比較（±ポイント）	-1.5	-2.2	-1.3	-1.8			-0.7	-2.7

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「化学」「生物」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」は全国の前答率とほぼ同じであるものの、「思考・判断・表現」は2.7ポイント下回っている。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	話す	書く	知識・技能	思考・判断・表現
市	48.9	60.7	72.6	52.6	23.3	34.0	49.1	52.3
全国	52.1	62.3	76.0	55.8	25.3	37.1	52.4	54.7
全国との比較（±ポイント）	-3.2	-1.6	-3.4	-3.2	-2.0	-3.1	-3.3	-2.4

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「聞く」「読む」「話す」「書く」のすべて領域で全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

令和3年度 鳥取市共通学力調査 【中2義8】 調査結果概要

■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や昨年度調査からの学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

■平均点

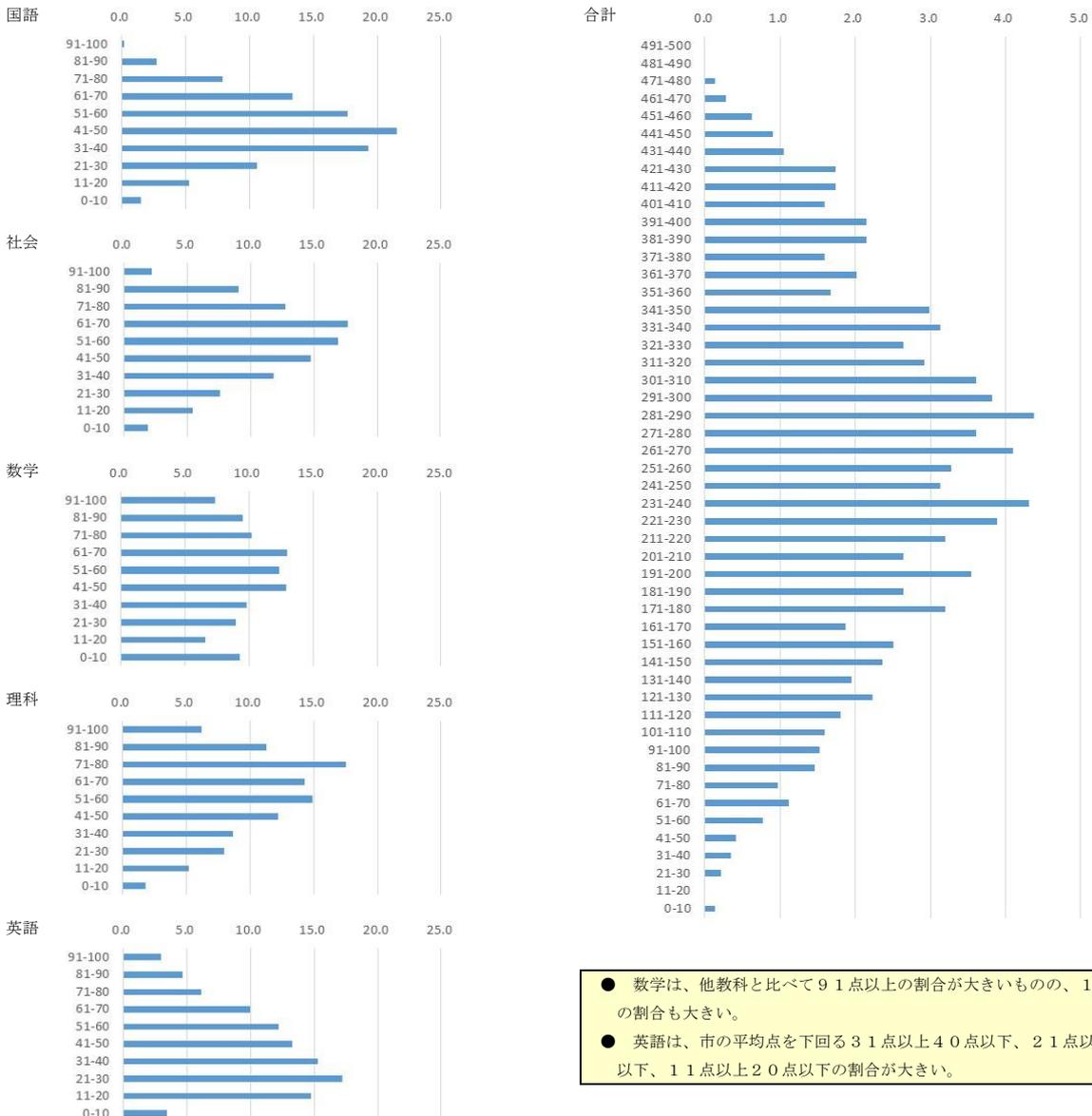
+1.1点以上
-1.1点以下

	令和3年度			令和2年度	
	市中2	全国中2	全国との比較	市中1	昨年度市中1との比較
国語	47.3	47.3	0.0	46.0	1.3
社会	54.2	56.3	-2.1	62.7	-8.5
数学	51.3	56.8	-5.5	51.5	-0.2
理科	57.9	56.1	1.8	65.4	-7.5
英語	43.2	47.9	-4.7	49.6	-6.4
合計(※)	254.3	264.4	-10.1	275.5	-21.2

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあらわしており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 理科は全国の前年点を1.8点上回っているものの、社会、数学、英語は下回っている。
- 同一集団の前年度の平均点と比較すると、国語は前年度の平均点を上回っているものの、社会、理科、英語は下回っている。

■得点分布 (%)



■カテゴリ別正答率（%）

+1.1ポイント以上

-1.1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	音声言語・言語事項	現代文	表現		知識・技能	思考・判断・表現
市	46.5	48.2	65.6	41.6	48.2		65.6	43.3
全国	46.2	49.0	64.5	41.5	49.0		64.5	43.5
全国との比較（±ポイント）	0.3	-0.8	1.1	0.1	-0.8		1.1	-0.2

- 「基礎」「活用」ともに全国の正答率とほぼ同じである。
- 「現代文」「表現」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「音声言語・言語事項」は1.1ポイント上回っている。
- 「思考・判断・表現」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「知識・技能」は1.1ポイント上回っている。

社会	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	地理	歴史			知識・技能	思考・判断・表現
市	53.7	54.0	59.7	47.8			55.1	48.1
全国	55.6	55.6	61.0	50.2			57.1	49.4
全国との比較（±ポイント）	-1.9	-1.6	-1.3	-2.4			-2.0	-1.3

- 「基礎」「活用」ともに全国の正答率を下回っている。
- 「地理」「歴史」ともに全国の正答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の正答率を下回っている。

数学	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現
市	55.8	26.9	61.6	29.0	47.2	26.9	60.2	31.8
全国	56.9	44.1	62.2	34.5	48.4	44.1	61.2	41.5
全国との比較（±ポイント）	-1.1	-17.2	-0.6	-5.5	-1.2	-17.2	-1.0	-9.7

- 「基礎」「活用」ともに全国の正答率を下回っている。
- 「数と式」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「図形」「関数」「データ活用」は下回っている。
- 「知識・技能」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「思考・判断・表現」は9.7ポイント下回っている。

理科	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	物理	化学	生物	地学	知識・技能	思考・判断・表現
市	56.0	65.8	49.4	68.8	59.8	36.8	58.5	54.9
全国	56.0	59.0	46.8	68.8	57.0	40.0	57.4	54.0
全国との比較（±ポイント）	0.0	6.8	2.6	0.0	2.8	-3.2	1.1	0.9

- 「基礎」は全国の正答率と同じであるものの、「活用」は6.8ポイント上回っている。
- 「物理」「生物」は全国の正答率を上回っているものの、「地学」は3.2ポイント下回っている。
- 「思考・判断・表現」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「知識・技能」は1.1ポイント上回っている。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	話す	書く	知識・技能	思考・判断・表現
市	43.0	41.4	59.0	44.3	24.5	32.3	44.1	37.8
全国	48.0	42.2	63.7	48.0	29.0	37.4	49.1	39.7
全国との比較（±ポイント）	-5.0	-0.8	-4.7	-3.7	-4.5	-5.1	-5.0	-1.9

- 「活用」は全国の正答率とほぼ同じであるものの、「基礎」は5.0ポイント下回っている。
- 「聞く」「読む」「話す」「書く」のすべての領域で全国の正答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の正答率を下回っている。

令和3年度 鳥取市共通学力調査 【中3義9】 調査結果概要

■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や昨年度調査からの学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

■平均点

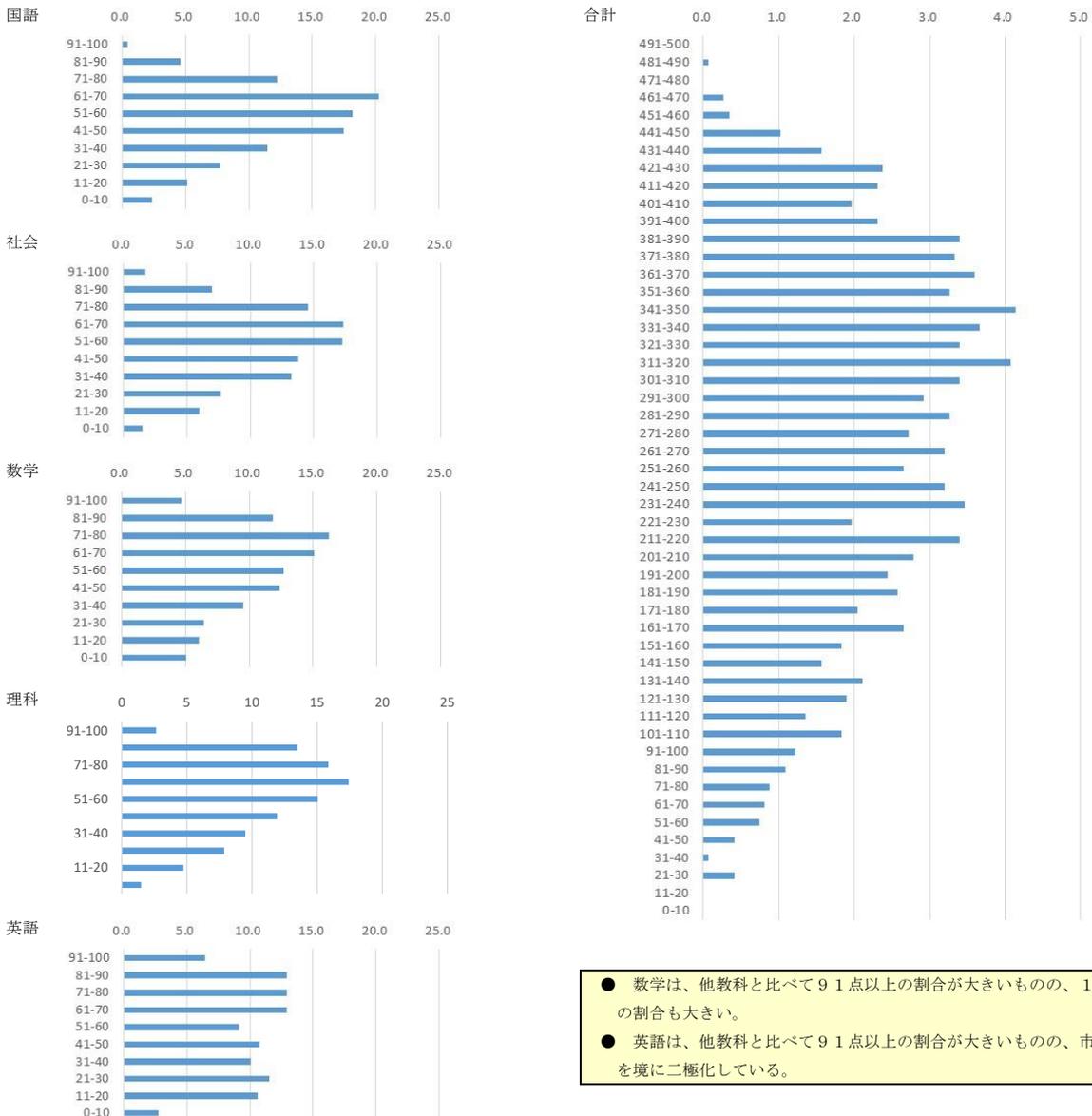
+1.1点以上
-1.1点以下

	令和3年度			令和2年度	
	市中3	全国中3	全国との比較	市中2	昨年度市中2との比較
国語	51.9	49.1	2.8	54.0	-2.1
社会	53.6	53.8	-0.2	54.3	-0.7
数学	55.5	54.6	0.9	52.8	2.7
理科	57.4	57.5	-0.1	49.3	8.1
英語	53.7	55.7	-2.0	50.3	3.4
合計(※)	272.3	270.7	1.6	261.1	11.2

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあらわしており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 国語は全国の平均点を2.8点上回っているものの、英語は2.0点下回っている。
- 同一集団の昨年度の平均点と比較すると、国語は昨年度の平均点を下回っているものの、数学、理科、英語は上回っている。

■得点分布 (%)



- 数学は、他教科と比べて91点以上の割合が大きいものの、10点以下の割合も大きい。
- 英語は、他教科と比べて91点以上の割合が大きいものの、市の平均点を境に二極化している。

■カテゴリー別正答率（％）

+1. 1ポイント以上

-1. 1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	音声言語・言語事項	現代文	古文	表現	知識・技能	思考・判断・表現
市	50.4	56.9	72.6	48.6	49.8	43.6	63.2	48.1
全国	48.1	50.5	72.4	46.2	45.4	38.9	62.2	44.6
全国との比較（±ポイント）	2.3	6.4	0.2	2.4	4.4	4.7	1.0	3.5

- 「基礎」「活用」ともに全国の正答率を上回っている。
- 「音声言語・言語事項」は全国の前年と同様であるものの、「現代文」「古文」「表現」は上回っている。
- 「知識・技能」は全国の前年と同様であるものの、「思考・判断・表現」は3.5ポイント上回っている。

社会	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	地理	歴史	公民		知識・技能	思考・判断・表現
市	54.6	46.5	46.4	56.9	55.6		59.1	29.2
全国	54.5	43.0	43.2	57.2	56.4		58.8	27.3
全国との比較（±ポイント）	0.1	3.5	3.2	-0.3	-0.8		0.3	1.9

- 「基礎」は全国の前年と同様であるものの、「活用」は3.5ポイント上回っている。
- 「歴史」「公民」は全国の前年と同様であるものの、「地理」は3.2ポイント上回っている。
- 「知識・技能」は全国の前年と同様であるものの、「思考・判断・表現」は1.9ポイント上回っている。

数学	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現
市	56.5	49.3	67.9	16.5	49.3	28.5	70.6	38.2
全国	57.5	42.5	68.4	20.5	42.5	29.0	71.4	36.2
全国との比較（±ポイント）	-1.0	6.8	-0.5	-4.0	6.8	-0.5	-0.8	2.0

- 「基礎」は全国の前年と同様であるものの、「活用」は6.8ポイント上回っている。
- 「関数」は全国の前年を上回っているものの、「図形」は4.0ポイント下回っている。
- 「知識・技能」は全国の前年と同様であるものの、「思考・判断・表現」は2.0ポイント上回っている。

理科	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	物理	化学	生物	地学	知識・技能	思考・判断・表現
市	58.8	49.7	50.1	60.8	58.9	60.6	58.9	52.3
全国	60.0	46.6	47.9	62.9	60.4	60.6	59.6	51.7
全国との比較（±ポイント）	-1.2	3.1	2.2	-2.1	-1.5	0.0	-0.7	0.6

- 「基礎」は全国の前年を1.2ポイント下回っているものの、「活用」は3.1ポイント上回っている。
- 「物理」は全国の前年を2.2ポイント上回っているものの、「化学」「生物」は下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前年と同様である。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	話す	書く	知識・技能	思考・判断・表現
市	52.8	54.8	61.3	52.5	35.0	50.5	53.7	51.1
全国	55.8	52.3	65.2	53.5	37.5	52.4	55.7	53.4
全国との比較（±ポイント）	-3.0	2.5	-3.9	-1.0	-2.5	-1.9	-2.0	-2.3

- 「基礎」は全国の前年を3.0ポイント下回っているものの、「活用」は2.5ポイント上回っている。
- 「読む」は全国の前年と同様であるものの、「聞く」「話す」「書く」は下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前年を下回っている。